

「高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画」骨子案について

1. 計画の概要

◎高齢者保健福祉計画

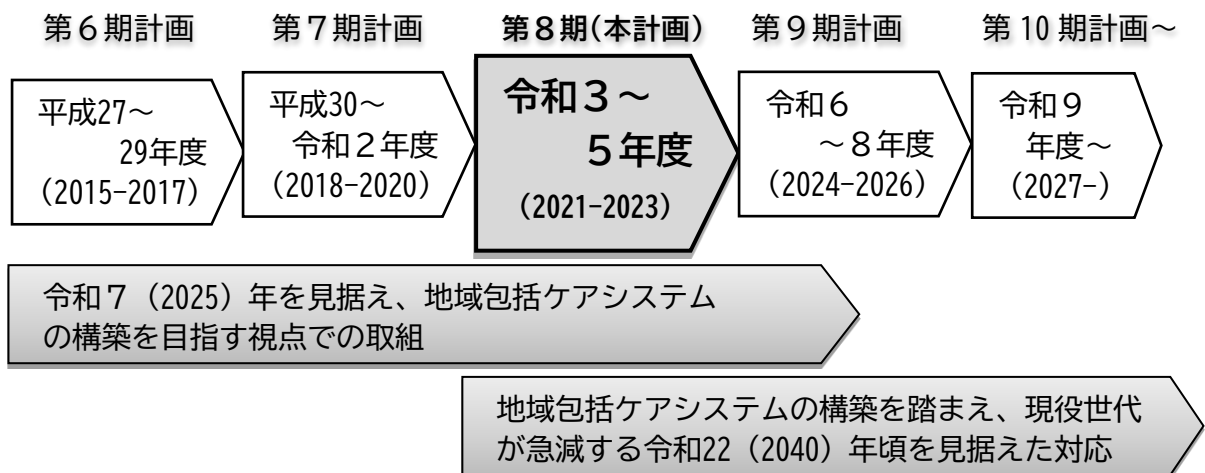
老人福祉法第20条の8に基づき、老人居宅生活支援事業及び老人福祉施設による事業の供給体制の確保に関して市が定める計画。

◎介護保険事業計画

介護保険法第117条に基づき、市町村が行う介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施に関して市が定める計画。

⇒2つの計画は、一体のものとして作成するよう定められている。

◆計画期間



◆計画の名称

第6期計画(平成27～29年度)より、

「習志野市 光輝く高齢者未来計画(高齢者保健福祉計画・第●期介護保険事業計画)」として作成している。

2. 現時点での見直しの概要

(1) 施策展開を導く流れについて

基本理念 「住み慣れた地域で、健やかに暮らし、やさしさを支え合うまち」
→ **市全体の現状・課題** → **基本目標** × 4 → **目標を実現するための施策**

※施策ごとに「現状と課題」、「取組(目標)」を記述

(2) 基本理念について

基本理念 「住み慣れた地域で、健やかに暮らし、やさしさを支え合うまち」
※第6期計画から掲げているものを継続して使用

理由：団塊の世代が75歳以上となる2025年を見据えて、新たに目指す姿として設定した経緯があり、2025年を見据えた計画ということでは、第8期計画の国の基本指針案においても、同様の考え方が示されているため。

(3) 基本目標について

基本目標（基本目標1）自分に合った生活場所と介護サービスの充実
（基本目標2）安定した日常生活のサポート
（基本目標3）いつまでも元気に暮らせる健康づくり
（基本目標4）地域で支え合う仕組みの拡大

※第7期計画から掲げているものを継続して使用

理由：高齢者等実態調査などの結果から考察した課題について、第7期計画策定時と大きな変化がないことから、引き続き、目指すべき目標内容として最適であるため。

(4) 国の示す基本指針について

※基本指針＝「計画作成上のガイドライン」

現時点では制定されておらず、「基本指針（案）」を参照しています。

◆基本指針（案） ※抜粋

2025年を目指した地域包括ケアシステムの整備、更に現役世代が急減する2040年の双方を念頭に、高齢者人口や介護サービスのニーズを中長期的に見据える

◆ポイント

- ①地域包括ケアシステム、介護保険制度を基盤とした地域共生社会づくり
- ②介護サービス需要の更なる増加・多様化への対応
- ③現役世代（担い手）減少への対応

◆第8期計画での記載の充実が求められる事項

- ①2025・2040年を見据えたサービス基盤、人的基盤の整備
- ②地域共生社会の実現
- ③介護予防・健康づくり施策の充実・推進（地域支援事業等の効果的な実施）
- ④有料老人ホームとサービス付き高齢者住宅に係る都道府県・市町村間の情報連携の強化
- ⑤認知症施策推進大綱等を踏まえた認知症施策の推進
- ⑥地域包括ケアシステムを支える介護人材確保及び業務効率化の取組の強化